

【 桜の花びらに 生きる力 】

寒い日が続いても、春の訪れも少しずつ感じています。お元気にお過ごしのことと存じます。

一階正面の雛飾りの脇で、桜の木の枝が、大きな花瓶に挿されて、みどりの葉とともに白い花が咲いています。この桜の枝は、保育園ひよこハウス豊田の入り口にある桜の木を、当施設の工事のために枝落としをしたものです。

4月に綺麗な花が楽しめるのに、少し残念ですが、この白い花を見て、自然の生き物は、機械と違って、とても融通が利く側面を持っていることを教えてください。

人間がつくる機械では、そのような融通は利きません。壊れたテレビは映りませんし、音も出ません。壊れた部品を特定し、その部品を取り替えなければ、元に戻りませんし、役に立ちません。一方、生き物である、人間の体は衰えたり、一部働かなくなっても、次善の形で機能したり、今まで働いていなかった部分が代わりに働きだすことすらあるのです。

人の老いもそういう要素を持っています。昔は「老人力」などといったものです。適当に物覚えが悪くなったら、余り細かいことに悩まなくもなり、これも結構、役に立ちます。

人生も日本の四季のようなもので、秋は、夏のように瑞々しく、きれいな緑で生い茂っている姿は叶いませんが、紅葉の美しさを見せてくれます。また空気が澄んで青空も楽しめますし、秋の後半から冬には白い雪を冠った美しい富士山が楽しめます。

今年は、大雪で大変な思いをしている地域もありますが、既にチューリップやユリの芽吹きも観察できます。

たまたま捨てられかけた桜の枝が、花瓶に挿されたら、水だけで、葉も出し、白い花を咲かせて、「生きもの」の力を教えてくれました。これは、われわれの人生にも大いに参考になります。この桜の枝から「生きていけばいいんだよ」と教えられた、その思いを少しお伝えしたかった次第です。

私たちの施設は、ご利用者・ご家族の皆さん、職員、ボランティアと多くの人で、いっしょにワイワイ楽しく、行事などを通じ、いい雰囲気です。一日一日を過ごせるように心がけております。

今月もよろしくご協力のほどをお願い申し上げます。

佐々木 榮一

